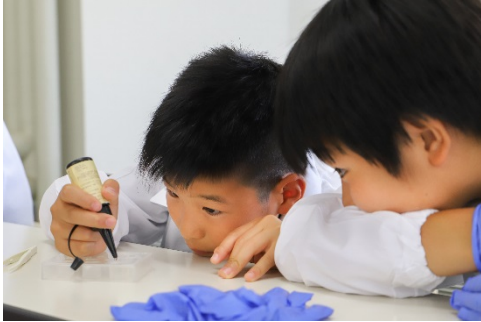


平成30年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT30168 夏に現れる嫌な虫、蚊ってどんな奴？



開催日：平成30年7月31日(火)

実施機関：金沢医科大学

(実施場所) 基礎研究棟 2階・3階

実施代表者：村上 学

(所属・職名) (医学部・准教授)

受講生：小学5・6年生 24名

関連URL:

【実施内容】

<プログラムの留意工夫点>

過去の開催経験より長時間の座学講義は参加児童の集中力が低下してしまうことから、学習内容を絞り、参加児童が集中できるプログラム内容として体験学習(観察や実習)を主として実施した。

講義で使用するテキストは図表や写真を多用して分かり易い物を準備し、動画や写真の視聴を多用、体験学習は顕微鏡、拡大鏡や虫めがねを使用した観察を行い、実習ではレジン標本作製を行い、飽きて集中力散漫にならない様にした。

すべての工程で参加児童3-4名に最低1名の指導者を配置、疑問や質問に迅速に対応できる体制で開催し、観察と実習は同伴者には周囲で見守ってもらい、児童本人が自主的に行えるようにした。

<スケジュール>

09:30-10:00 受付(金沢医科大学 基礎棟 2F 会議室)

10:00-10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明、スタッフ紹介)

10:20-11:00 講義:「衛生昆虫に関して、蚊の話」

11:00-11:10 休憩

11:10-12:10 観察:「蚊の種差、蚊の吸血」

12:10-13:00 昼食

13:00-13:50 観察:「電子顕微鏡で昆虫の細部観察」

13:50-14:50 実習:「蚊のレジン標本作製」

14:50-15:00 休憩

15:00-15:25 講義+観察「バイオミメティクス、役に立つ昆虫」

15:25-15:50 観察:「飼育下の蚊(卵、ボウフラ、サナギ、成虫)観察」

15:50-16:20 修了式(アンケート記入回収、未来博士号授与式)

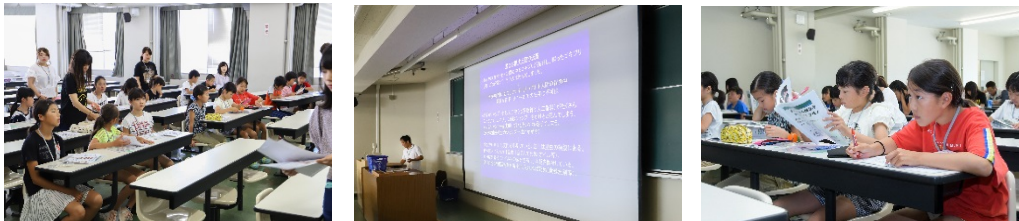
16:20 終了・解散

<実施の様子>

10:00-10:20 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明、スタッフ紹介)



10:20-11:00 講義:「衛生昆虫に関して、蚊の話」



11:10-12:10 観察:「蚊の種差、蚊の吸血」



13:00-13:50 観察:「電子顕微鏡で昆虫の細部観察」



13:50-14:50 実習:「蚊のレジン標本作製」



15:00-15:25 講義+観察「バイオメテックス、役に立つ昆虫」



15:25-15:50 観察:「飼育下の蚊(卵、ボウフラ、サナギ、成虫)観察」



15:50-16:20 修了式(アンケート記入回収、未来博士号授与式)



<事務局との協力体制と広報活動>

研究推進課:日本学術振興会との連絡, 教育委員会経由での県内小学校への案内配布、申込受付、会場準備, 飲食物の手配等の実務

出版課:ポスター、リーフレットの作成

広報課:地元新聞社やテレビ局へのPR、取材、記事掲載依頼

<安全配慮>

参加児童全員の保険加入。参加児童 3-4 名に 1 名の指導者を配置した。夏季開催のため熱中症対策として休憩時間を充分にとり、十分な飲料を用意、配布した。蚊レジン標本作製では化学物質を使用するため、児童には手袋やマスクを着用させた。

<今後の発展性、課題>

夏休み期間に行う本プログラム参加者には自由研究の参考にしたいという意見が少なからずある。参考にしてみようのとは一向に構わないが中には「自由研究、何をすればいいのかわからない?」という子もいる。小学生には「何でもいから自分が興味があることを調べなさい!」と言われても戸惑う子が多いようだ。自主的に問題を見つけ解決するプロセスを習ったことも実行したこともない子がほとんどだから当然であろう。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」の開催により子どもに科学の楽しさや大切さに気づいて貰える、興味がわく大切な機会だと考えている。今後も可能な限り開催していきたいと考えている。

【実施分担者】

前田 雅代 一般教育機構・講師

有川 智博 一般教育機構・講師

竹原 照明 総合医学研究所・技術員(嘱託)

【実施協力者】 ____ 7 名

【事務担当者】 森下 将伍 研究推進課・事務員